

茨城の外国人生徒の進路調査結果

茨城NPOセンター・コモンズ グローバルセンター
茨城の外国人児童生徒の学習環境向上プロジェクト

1. 調査の概要

調査目的	茨城県における外国人生徒の進路状況を把握し、高校進学率を向上させるための施策を検討実施していくために実施する。
調査時期	平成 25 年 10～11 月
調査対象	平成 25 年度に外国籍生徒が在籍していた公立中学校 132 校
調査内容	平成 25 年 3 月に卒業した外国人生徒について 3 月末時点での進路について記入いただく。 進路調査対象者は、平成 25 年 3 月時点で 3 学年に在籍していた生徒のうち、①外国籍生徒、②日本国籍であっても 3 年時に「日本語指導が必要な生徒」として茨城県教育委員会に報告した生徒。日本生まれの場合、「来日年齢」は「0」歳、また、帰国経験のある生徒については、「初来日年齢」とする。
調査方法	県国際課と県教育委員会の協力のもと市町村教育委員会を經由し郵送方式で実施 進路調査と合わせて、学校の外国人生徒受け入れに関するアンケートも実施。

2. 調査結果

1) 回答のあった中学生の人数

回答があったのは 176 名。

県義務教育課が毎年実施している外国籍児童生徒の調査によると平成 25 年 7 月時点で、県内公立中学校には、545 名の外国籍生徒が在籍となっており、これを 3 で割った 182 名と回答のあった 176 名と比較しても大きな差はなく、外国籍生徒のかなりの部分をカバーしたデータといえる。

備考

上記の義務教育課のデータでは、545 名のうち、日本語指導が必要とされる生徒は 170 名とされ、その割合は 31%になっている。小学校の場合は、外国籍児童は 1145 名、日本語指導が必要な児童は 517 名で、外国児童に占める割合は 45%に及んでいる。

2) 調査対象者の属性

進路情報の記載があった生徒の国籍、性別、母国語、来日年数は以下のとおりである。

国籍

日本	2
ブラジル	49
フィリピン	43
ペルー	20
アルゼンチン	1
中国	16
韓国	8
タイ	9
インドネシア	5
パキスタン	3
スリランカ	1
ラオス	1
ケニア	1
アメリカ	2
フランス	1
ドイツ	1
ベトナム	7
モンゴル	3
ネパール	1
ミャンマー	1
カナダ	1
	176

性別

男性	94	53.4%
女性	82	46.6%
	176	100.0%

母語

母語が日本語	52	29.5%
母語が外国語	124	70.5%
	176	100.0%

中3時の日本語指導

あり	48	27.3%
なし	122	69.3%
不明	6	3.4%
	176	100.0%

来日年齢

12歳以降	45	25.6%
9～11歳	29	16.5%
6～8歳	16	9.1%
3～5歳	11	6.3%
0～2歳	57	32.4%
不明	18	10.2%
	176	100.0%

3) 進路結果

進路	中3時における日本語指導					割合	来日3年以内	来日4年以上
	指導なし	指導あり	不明	計	割合			
帰国	3	2		5	2.8%		2	3
就職	1	1		2	1.1%		0	2
進学	112	40	6	158	89.8%		35	123
未定	6	5	0	11	6.3%		4	7
進学率	91.8%	83.3%					85.4%	91.1%
	122	48	6	176	100.0%		41	135

進学した生徒の学校区分

入学先	中3時における日本語指導				来日3年以内	来年4年以降
	指導なし	指導あり	不明	計		
外国人学校	1			1	1	0
公立全日制	82	26	3	111	23	88
公立定時制	8	3	1	12	1	11
私立全日制	19	5	1	25	7	18
私立通信制		2	1	3	1	2
その他の学校	3	3		6	2	4
				158	35	123

入学先	ブラジル	フィリピン	ペルー	中国	韓国	タイ	ベトナム	インドネシア	その他の国	合計
外国人学校	1									1
公立全日制	33	28	12	8	4	7	5	3	13	113
公立定時制	4	5				1	1		2	13
私立全日制	5	2	3	7	3			1	2	23
私立通信制	1		2							3
その他の学校		3	1			1				5
	44	38	18	15	7	9	6	4	17	158
進学以外	5	5	2	1	1	0	1	1	2	18
進学率	89.8%	88.4%	90.0%	93.8%	87.5%	100.0%	85.7%	80.0%	89.5%	89.8%
	49	43	20	16	8	9	7	5	19	176

4) 来日年数と日本語指導の関係

来日年齢と中学3年時の日本語指導	中3での日本語指導			合計
	指導なし	指導ある	不明	合計
日本生まれ	49	1	4	54
1～3歳に来日	7	3	0	10
4～6歳に来日	0	11	0	11
7～9歳に来日	14	7	1	22
10歳以降に来日	29	32	0	61
不明	12	5	1	18
	111	59	6	176

国籍別の来日年数と母語が日本語とされた生徒数										
国籍別の在住年数	ブラジル	フィリピン	ペルー	中国	韓国	タイ	ベトナム	インドネシア	その他の国	合計
母語が日本語	17	15	3	3	4	4	3	0	4	53
日本生まれ	21	10	3	3	2	5	4	0	6	54
1～3歳に来日	3	0	2	2	0	1	0	0	2	10
4～6歳に来日	4	3	2	1	0		0	0	1	11
7～9歳に来日	7	4	2	2	3	2	1	0	1	22
10歳以降に来日	8	20	9	8	3	1	2	3	7	61
不明	6	6	2	0	0	0	0	2	2	18
	49	43	20	16	8	9	7	5	19	176

5) 来日から3年以内の生徒の進路と外国人特例選抜を選択した人数

来日3年以内の生徒の進路										
国籍	ブラジル	フィリピン	ペルー	中国	韓国	タイ	ベトナム	インドネシア	その他の国	合計
回答のあった生徒数	49	43	20	16	8	9	7	5	19	176
来日3年以内の生徒	3	13	8	7	3	0	2	2	3	41
日本語指導あり	3	9	3	3	0		1	1	3	23
日本語指導なし	0	4	5	4	3		1	1	0	18
進学	3	12	7	7	2		1	1	2	35
外国人特例選抜	0	4	0	2	0		1	1	1	9
公立全日制	0	9	6	6	0		0	1	2	24
公立全日制以外	3	3	1	1	2		1	0	0	11

外国人特例選抜を使って受検した生徒の内訳

国籍	母語	来日年齢	日本の就学期間		中3時の日本語指導	進路希望	希望先	受検	進路	入学先	学科名
			年	ヶ月							
モンゴル	モンゴル語	12	2	0	あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通科
中国	中国語	14	0	9	なし	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通、国際科
中国	中国語	13	2	3	あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通科
フィリピン	タガログ語	14	2	6	あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	機械科
インドネシア	インドネシア語	13	2	6	なし	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通科
フィリピン	タガログ語	15	1		あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通科
フィリピン	タガログ語	15	1	7	あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通科
ベトナム	ベトナム語	14		7	あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立定時制	普通科
フィリピン	タガログ語	13	1	9	あり	進学	県内公立	県立外国人特例	進学	公立全日制	普通科

考察

今回の176名の生徒の進路データから見えてきたことは以下のようなことである。

- ・国籍別では県内ではブラジルやフィリピンが多い。ただしこの傾向は変わる可能性がある。
- ・176名中、76名は小学校入学前に来日、または日本で生まれており母語が日本語という生徒も多い。一方で、ペルー、フィリピンなどでは中学校段階で来日している生徒が多い。
- ・全体の高校進学率は、89.8%だが、来日3年以内の生徒は85.4%と進学率に差がある。
- ・国籍別にも、進学率には差があり、インドネシアやベトナムの生徒の進学率が低めだった。
- ・来日3年以内の生徒は、私立高校に入っている割合が多く、殆どが最初から私立志望であった。
- ・来日3年以内の生徒は41名（全体の約4分の1）であったが、進学した生徒は35名いた。その中で、3教科と面接で受検できる外国人特例選抜で受検した生徒は、わずか9名だった。外国人特例選抜の方が受検しやすいはずだが、4人に3人は、5教科での一般の受検または試験科目が少ない私立高校を選択している。本県の外国人特例選抜は各校2名で、倍率が高くなることを懸念して、やむを得ず一般枠を選んでいる状況があり、見直しが必要と思われる。

備考 外国人特例選抜について、茨城県では全公立高校に一律に各校2名までという上限を設けているが、他県では、外国人生徒が多く受検する高校について、特例選抜で受け入れられる人数を多く設定したり、来日6年まで可能にしたり、何名までは外国人生徒を受け入れる外国人枠（この場合、定員内不合格にはならない）を設けている県もある。